



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.6590	3.7660	3.7420	3.6280	3.6240	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	31.13	30.04	30.08	30.69	30.78	+0.09
	EUR/USD	Spot	1.1102	1.1109	1.1228	1.1315	1.1270	-0.0045
	USD/JPY	Spot	113.81	113.16	112.62	111.38	111.55	+0.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.94	13.97	13.92	13.93	13.94	+0.0123
	Future	1Year(p.a.)	13.71	13.85	13.72	13.64	13.68	+0.0457
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.284	3.453	3.351	3.300	3.601	+0.301
	USD	1Year(p.a.)	3.594	3.692	3.572	3.350	3.492	+0.142
株式	Bovespa指数		48,867.34	47,130.02	47,763.43	50,913.79	50,814.66	-99.13
CDS	CDS Brazil 5y		383.60	429.75	430.34	384.50	360.06	-24.44
商品	CRB指数		172.384	171.072	173.758	177.656	176.346	-1.310

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のリアル相場は週前半は政治イベントを巡って下落したものの、後半には全戻しの展開となった。週央にかけてはルラ前大統領が官房長官に就任し早期政権交代への期待が後退したことから、昨年9月以来の高値をつけた先週引け値から約5.3%下落した。しかし、ルセフ大統領がルラ氏を逮捕から回避させるために入閣させたことが明確になると、議会で大統領の孤立感が強まり、リアルは週間高値圏まで急反発した。
- 週初のリアルは3.5810で寄り付いた。先週末の反政府デモが平和裏に行われたことから、週初のリアルは利益確定のリアル売りが先行した。その後、ルラ前大統領が入閣を応諾したことを受けて、同氏の逮捕が難しくなるとの観測からリアルは下落。同氏が官房長官に就任すると週間安値となる3.8520を示現した。その後、FOMCで年内の利上げ見通しが下方修正されたことを受けてリスク資産買いが優勢となるとリアルは3.75近辺まで反発した。更に検察当局がルセフ大統領とルラ氏の電話の盗聴テープを公開し、ルセフ大統領が検察の逮捕請求に備えてルラ氏に閣僚任命書を渡していたことが明らかになり、議会でルセフ大統領の孤立感が強まると、大統領弾劾の期待感が再び高まり、リアルは週間高値3.5730まで上昇した。引けにかけては現政権支持派の大規模なデモを受けて小反落し、結局3.6240で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想集計では2016年GDP成長率予想が-3.50%から-3.54%に3週連続で下方修正された。2017年予想は+0.5%で3週連続据え置きとなった。インフレ率予想は2016年末が7.59%から7.46%へ下方修正され、2017年末予想は5週連続で6.0%に据え置かれた。政策金利予想は2016年末、2017年末いずれも据え置きで14.25%と12.50%だった。
- FOMCでは政策金利誘導目標レンジを0.25%-0.50%で据え置くことが決定された。また、世界経済の低成長や金融市場の混乱が米経済に影響を及ぼす可能性があることを理由に、年内の利上げ見通しが下方修正され年内2回の利上げが示唆された。これを受けてリスク資産買いの動きが見られ、WTI先物は昨年12月以来で初めて1バレル41ドル台を示現した。

3. 今週のチャート&ハイライト



ルセフ大統領弾劾の期待が高まる

ルラ前大統領が閣僚ポストにつくと、汚職に関する同氏への審理権限が州地方裁から最高裁に移ることから、今後の汚職捜査が難しくなる。連邦警察の盗聴テープで、官房長官就任前に逮捕されるというような「いざという時のために」任命書を送っておくとルセフ大統領の発言が公開され、議会でルセフ大統領の孤立感が高まったことを受けて、政権交代への期待からブラジル買いの相場となった。ボベスパ指数は一時51300を上抜け、昨年7月以来の水準まで上昇した。ブラジル5年国債のCDSも380を割り込み、昨年9月のブラジル国債格下げ後で最も低い水準まで低下した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客業のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.40－3.85

ブラジルの政局は混迷を極めている。ルラ氏の官房長官就任は連邦裁判所によって一旦差し止められるも、その後労働党の控訴を受けて有効とされた。政治に関しては来週どのような動きがあるのか予想は難しいが、一連の流れを受けて議会では現行政権に反対する立場に回る議員が増加しており、ルラ氏とルセフ大統領は孤立色を深めている。ルセフ大統領弾劾裁決に向けた動きは益々強まっており、政権交代への期待感が強まっている。レアルは上値を探る展開が続こう。一方、米国のFOMCで利上げ期待が後退したことから世界的にはリスクオンムードが続くと思われる。原油を初めとする商品価格が上昇しており、資源国通貨のサポートとなっている。この点からもレアルは上値を探る展開となりそうだ。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.75%	0.94%	0.80%
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	0.49%	0.43%	1.24%
ブラジル	税収	90000m	87851m	129385m
米	シカゴ大学消費者マインド	92.2	90.0	91.7

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	3/20	長期レト	Apr-01	7.50%	7.50%
ブラジル	3/21	登録雇用創出合計	Feb	-41235	-99694
ブラジル	3/21	貿易収支(週次)	Mar-20	--	\$828m
米	3/21	中古住宅販売件数	Feb	5.32m	5.47m
ブラジル	3/23	FGV CPI IPC-S	Mar-22	--	0.65%
ブラジル	3/23	失業率	Feb	8.0%	7.6%
ブラジル	3/23	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Mar	10.06%	10.84%
ブラジル	3/23	経常収支	Feb	--	-\$4817m
ブラジル	3/23	海外直接投資	Feb	--	\$5455m
米	3/23	MBA住宅ローン申請指数	Mar-18	--	-3.3%
米	3/23	新築住宅販売件数	Feb	510k	494k
ブラジル	3/24	全国失業率	Jan	--	9.0%
米	3/24	新規失業保険申請件数	Mar-19	268k	265k
米	3/24	耐久財受注(前月比)	Feb P	-2.8%	4.7%
米	3/25	GDP(年率/前期比)	4Q T	1.0%	1.0%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しく申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。